



ることこそが、重要であると言える。
 なお、リビング、キッチン、バス、洗面スペースで構成された1Fは、いわゆるかな雰囲気とゆとりある空間を意識し、そこから2階へとやさしくつながり合った統一感を見せる。
 人生を共にする家こそ、「好き」を譲れない人のために。ささやかに積み重なる精神的豊かさが、日々の力になることを知っている人のために。ウィルがみせる新たな価値観、ぜひオープンハウスで、その姿を体感してほしい。

「できるだけ壁を取り払った、広いワンフロアがほしい」「自由度の高い空間を家具によってアレンジしたい」「広いフロアに書斎、ベッド、仕事スペースを配置できる、洒落たプライベート空間がほしい」「子どもが成長するまでは、部屋ごとの区切りをなくしたい」
 昨今、住まい手が理想とする家の形はどんどん変容し、これまで「あるべき」とされてきたものから距離をとり、自らのライフスタイルを軸に新たな価値観で家づくりを行う人が増えてきた。
 ウィルのモデルハウス「NEW STYLE ZERO-CUBE」(時任町26・24)は、その視点をベースに作り上げた家。「使い道を限定することとなる、細かな間取りは不要」という考えを基に、2階をひとつながりのフロアにし、今までにない生活空間をつくり出した。
 開放的で居心地がよく、どんな風にも変化できる自由さは、暮らしの中に想像以上の楽しさを生み、同時に創造性を刺激する。しかし、もちろんこれは「無難」とは対極にある大胆な発想で、今のところ実現を望む人はまだまだマイノリティと呼ばれる域。しかし、個性の点で言えば「マイノリティ」である

MODEL HOUSE INFORMATION

【mini-prot Exz 函館モデル】
 at マイタウン稜北 (22街区4画地)
 【coco-tique 函館モデル】
 at 函館市石川町 479-15 (石川町緑ヶ丘ニュータウン)

【NEW STYLE ZERO-CUBE】
 at 函館市時任町 26-24
 【ZERO-CUBE MALIBU】
 at 函館市石川町 479-17 (石川町緑ヶ丘ニュータウン)

(いずれも公開は土日 10:00~17:00)

※モデルハウスの詳細、そのほか宅地等に関する情報 HP、Facebook にて随時更新中です。
 【<http://iewill.jp>】